

環境影響評価業務の御案内

道路、河川事業などを行う場合に実施する環境影響評価により建設地で貴重な動植物が確認された場合はそれらの保全や移動・移植が必要になります。当協会ではそのような事態にも対応できるノウハウを持っています。

環境影響評価のながれ

地域の環境を調査し予測・評価の結果環境影響が認められた場合は環境保全措置を検討し影響の回避・低減を図ります。

調査

予測・評価

環境保全措置

再評価

調査・予測・評価

大気質、水質、底質、騒音、振動、植物、動物、景観等の調査を実施し、その結果に基づいて環境影響の予測・評価を行います。



水環境調査



水生生物調査



植物調査



カメラトラップによる動物調査



カメラトラップで撮影されたタヌキ



ラジコンヘリによる空中写真撮影調査

環境保全措置

永年蓄積した技術を生かし効果的な環境保全措置を提案します。

事例1：順応的管理手法による自然再生技術の提案

印旛沼で蓄積したヨシ原の再生技術を生かし順応的管理手法による自然再生技術を提案します。



造成当初



5年後ヨシ原が再生

事例2：持続可能な自然環境の維持管理技術の提案

継続的に実施しているオニビシの調査実績を生かし持続可能な自然環境の維持管理技術を提案します。

オニビシの群生地



事例3：淡水生態系の再生技術の提案

多くの湖沼の調査実績を生かし希少な水草や魚類等の淡水生態系の再生技術を提案します。

再生した水草



トリゲモ



ササバモ



エビモ

一般社団法人 千葉県建設コンサルタント業協会

(事務局) 千葉市中央区新宿 2-3-6 和合建設コンサルタント(株)内

☎043-246-8875 FAX 043-246-8876

e-mail: info@chiba-kenkon.jp URL: <http://www.chiba-kenkon.jp>